

# 神奈川県の学童保育

## 神奈川県学童保育連絡協議会 第45回定期総会を開催



去る6月21日(日)、神奈川公会堂に於いて「神奈川県学童保育連絡協議会第45回定期総会」を開催しました。

今年度はコロナ禍により、リモート参加もあつての総会でしたが、県内の地域学童保育連絡協議会の代表、個人会員等が参加し、滞りなく進められました。

はじめに、学童保育をめぐる国、県他の情勢について会長から報告があり、引き続き役員会から2019年度活動報告及び決算報告、会計監査報告が提案され、質疑応答の後、賛成多数で承認されました。

その後、2020年度活動方針、予算案が提案され、若干の質疑や意見がありました。第43回研究集会が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったこともあり、財政的な厳しさがありますが、今後に向け可能性を探りながら取組を継続することを確認し、2020年度活動方針、予算案は承認を得ました。

2020年度の運営委員は10地域で名前の確認があり、役員については以下の9名が承認されました。また、活動の強化をめざし、年度途中で増員を図っていくこともあわせて確認しました。

会長：小神長次

副会長：岡崎進、小関富美江、木村美登里、

小森伸二(新)、堀 英司(新)、山崎善明

財政局長：池谷 潤

事務局長：河野眞明

事務局次長：小関富美江(兼)、山崎善明(兼)

監査役：小保方則充(新)

尚、前副会長の内海洋子さん、中山光枝さんは今総会をもって退任となりました。長い間、ありがとうございました。

今回の総会は縮小しての開催のため、来賓の皆様にはメッセージをお願いしました。県議会各会派などから祝電をいただきましたので、皆さんと共有するとともに、神奈川県福祉子どもみらい局次世代育成課長、神奈川県学童保育を支える議員連盟(県議連)会長からのメッセージを紹介しました。(以下、抜粋を紹介)

神奈川県次世代育成課長 川上 亮 様

4/7の緊急事態宣言後も放課後児童クラブに対しては社会生活の維持に必要な事業として事業活動の継続を要請してきました。小学校の休校に伴い、午前中から長時間の預かりとなる中、子どもたちに感染が広がるリスクへの不安を抱えながらも必要な事業活動を支えるための開所に協力いただいております。支援員をはじめとする現場の皆様のご尽力に心からお礼を申し上げます。

県議連会長 小川久仁子 様

一斉休業になって間もなく、平塚のクラブを視察しました。三密禁止と言っても、とても追いつかない環境の中で、子どもたちが心と身体を寄せ合っていて思い思いの時間を過ごしている姿に接し、ほっとするとともに、指導員の苦労を目の当たりにしました。

開業することすら困難があり、自らがコロナに感染するのではないか、子どもたちに感染させるのではないかという恐れを抱えながら、勇気をもって保育にあたっていることに感銘を受けました。

平素の貢献と合わせ、心から感謝申し上げます。県への要望と合わせ、国への要望も含め、皆様への感謝を「要望の実現」という形で返せるよう、しっかりと対応し、皆様が働きやすい環境に近づくよう努力していくことを誓い挨拶いたします。

コロナ禍に負けず、保護者、指導員がともに支えあい、地域をこえて神奈川県内の学童保育の充実をめざしていきましょう。

## 県次世代育成課との懇談を実施しました

7月21日（火）の午前中に、連協事務所にて神奈川県で学童保育を所管する「福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課」との懇談を行いました。課長はじめ3名にお越しいただき、3月の臨時休校からの学童保育の様子等現場の声・要望を伝える機会となりました。

参加地域より、国の感染防止対策事業のかかり増し経費について、コロナ対策特別補助金についての対応の遅れ、補助金の支給時期について、感染予防等情報の錯綜による現場の混乱、学校施設の利用について他、これまでの課題や取り組んできたことや今後への不安などが出されました。

これら地域の声を受け止め、県課長から、「今の段階で回答できること」として以下のお話がありました。学童保育は欠かすことのできない事業として開所をお願いしてきた。できる限りの支援をしてきたが現場ではご苦労があったと思う。今後も一緒に取り組んでいきたい。国の第2次補正予算での「かかり増し経費」について国に確認したところ、「慰労金や危険手当として出すことはできない。作業した人への手当てとして使えるもの」とのこと。県は政令市分も含め、マックスで予算化している。工夫して活用してほしい。

県として保育所等での感染症対策を専門家に取りまとめてもらっている。まとまったら情報提供する。学童保育で密をさけることは難しいと思う。拡げないための感染予防としては基本的なこと（健康観察を欠かさず、体調不良の時は無理をしない。換気、手洗いを徹底する。ドアノブ等共有箇所の消毒を欠かさないなど）に努めていただくほかはない。

## 退任役員挨拶

### 中山光枝さん

昨年度をもちまして県連協の役員を退任させていただきました横浜市連協の中山です。役員を長くやり過ぎた感がありますが、県内の学童保育のみなさんから学ばせていただいたことが、日々の保育や市連協活動のエネルギーになっていたと実感しています。

数年間から県連協役員の若返りの意味でも、若い指導員に後任をと模索して参りましたが、残念ながら実現にはいたりませんでした。今後は役員候補を探しながら、県連協の応援団になりたいと思っています。長い間おつきあいいただきありがとうございます。ありがとうございました。

### 内海洋子さん

県連協の運営委員会に行かせていただいて、何年たったのでしょうか…はっきりと覚えておりませんが、平塚市内のことも把握しきれないまま県連協の会議に参加し、ドキドキいっばいで話に着いていけなかったことはよく覚えています。

全国研 in 神奈川では、全国のみなさんを神奈川県内の保護者・指導員・子どもたちと協力してお迎えでき、全国の学童仲間みなさんと神奈川で語り合い、学び会えたことはとてもいい思い出です。

長い間お世話になりました。これからも神奈川の学童仲間として、繋がりがあい一緒に頑張りましょう。

## 県連協 秋の学習会のお知らせ

### 「コロナ禍の今こそ確認したい学童保育の役割と生活」

講師：下浦 忠治（東京成徳大学講師・元品川区指導員）

日時：2020年10月25日（日） 13時00分～15時30分

会場：横浜市従会館（JR「桜木町」駅下車10分/京浜急行「日ノ出町」駅下車10分）

参加費：連協加盟の方 500円/人、連協未加盟の方 1,000円/人

2月半ばから、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている学童保育。

緊急事態宣言が解除され、6月からは学校が段階的に始まり、短い夏休みがやってきましたが、未だ指導員の研修も保護者会も思うように集まらない状況にあります。

そこで、今だからこそ学童保育の役割とそこで子どもたちに保障したい生活を改めて確認していきたいと思い、今年の「秋の学習会」を企画しました。

参加のお申し込み（オンライン参加もあり）・お問い合わせは県連協（Tel：045-662-9647）まで。

## 私のおすすめ『日本の学童ほいく』

毎月の運営委員会で、「私のおすすめ『日本の学童ほいく』」を地域持ち回りでご紹介いただいています。

6月は海老名の須賀さんからおすすめをいただきました。

『熱中症の対策』について、例年夏前に研修してきたが、今年はできないので、これを読んで再確認したいです。また、特集にある「指導員アンケートより一連携・協力・学びあいの実際と課題」が大変参考になりました。グラビアの写真を見ると羨ましく思いますよね。早くこういう風に遊べるようになることを願っています。」とのこと。須賀さん、ありがとうございました！

そして、7月は南足柄の原田さんからのおすすめです。

5月号「みんなでつくる学童保育の父母会・保護者会」より。南足柄市は昨年度から保護者会運営から法人一括運営に変わり、保護者の関心が薄れていたように感じていました。コロナで市連協も保護者会も集まれない中で、初歩について丁寧に書かれているので、保護者に学童保育を知ってもらうために活用しました。

6月号の特集「学童保育の生活を支える指導員の連携・協力・学びあい」は、集まっての研修ができないのでZOOMを使って読み合わせ、中身について話し合いをしました。また、熱中症が心配されるので、「学童保育における熱中症対策」はタイムリーで、皆で共有しました。

原田さん、とても活用していただいている様子がわかります。ありがとうございました。

コロナで保護者会や市連協で集まることが出来なかったり、指導員の研修も難しい状況ですが、ほいく誌を活用して連携が出来るのは大切だし、素敵なことですね。皆さんも、ぜひほいく誌を活用しましょう！

### 2020年7月号～8月号に掲載されている神奈川からの投稿

<2020年7月号> 特集「思春期」

★ 投稿「わが子の思春期・私の思春期」

「息子たちの思春期」横須賀市保護者 OB 釜浦 新一さん

★ 子どものひろば 横須賀市まぼりっ子クラブ 太郎さん（4年）

☆ 〃 三浦市ひまわり じゅんたさん（3年）

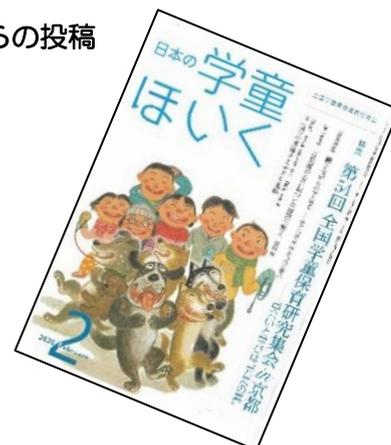
<2020年8月号> 特集「あ～そ～ぼ♪ — 子どもとあそび」

☆ 子どものひろば 逗子市波の子学童クラブ ひなたさん（2年）

平塚市山下学童保育会 来海さん（3年）

★ 読者のひろば 川崎市保護者 仲野幸恵さん

※ 実は…「ずいそう」の筆者である笠谷貴史さんは、横浜市金沢区の保護者で今年度から県連協の運営委員です。



## こんな時こそ『日本の学童ほいく』（通称『ほいく誌』）

新型コロナウイルス感染症の蔓延で、研修ができなかったり、保護者会ができなかったりが続いています。こんな時こそ『日本の学童ほいく』を活用しませんか？ 例えば…

☆ 1年生の保護者です。学童保育での子どもの様子がわかりません。

➡ 『ほいく誌』には学童保育での子どもの様子がたくさん書かれています。参考になりますよ。

☆ 来月初めてリモートで保護者会をします。初めて会う保護者同士の共通の話題作りに困っています。

➡ 『ほいく誌』の毎月の特集をテーマにはいかがですか？例えば、2020年7月号の『思春期』をテーマに昔の思い出話をすると意外な話題が出てくるかもしれませんよ。

☆ 私、新人指導員です。あそびのレパートリーが少なく困っています。

➡ 『ほいく誌』には毎号「たのしいな」というコーナーがあり、あそびの紹介があります。特に、8月号の特集は「あ～そ～ぼ♪—子どもとあそび」で、いろいろなあそびが紹介されていますし、「子どものあそびの理解と支援」について専門家から学ぶこともできます。

そのほか、4月号～9月号の講座「障害のある子どもの理解を深める」や、6月号特集の「指導員の連携・協力・学びあい」を読み合わせて指導員同士で学んでいきましょう。（6月号の「学童保育における熱中症対策」も、この時期とても大切な研修教材です）

## 活動報告(2020年6月～2020年7月の主な活動報告)

6月4日(木) 6月度運営委員会  
 6月21日(日) 第45回県連協定期総会  
 7月2日(木) 7月度運営委員会

定期総会の準備のために臨時役員会や事務局会議を重ねてきました。  
 他 第1木曜日 定例運営委員会に付随し、定例役員会、定例事務局会議を実施

## ♪ 海老名市連協だより ♪

緊急事態宣言に伴う、休校の対応を終えて小学校が再開して、早2か月。連協としての活動は、クラブ内の対応に追われてか、出足が鈍っている状況になります。そんな中でも既に動き出している市とのやりとりについて、いくつかご紹介いたします。

- 昨年より市内にあるすべての学童が法人化されましたが、市の紹介で毎月定期的に社労士に労務関係の相談ができる場を設けていただき、7月末より運用が開始されました。  
 また、今年度の補助金説明会の際に、自学童の運営に関するチェックシートの提出を求められました。「設備及び運営に関する基準を定める条例に関する監査チェックシート」「事業補助金交付要綱に関する監査チェックシート」の2種類のチェックシートがあり、運営の適正化を進めたいという市の姿勢が見受けられました。
- 子ども子育て交付要綱が国の改正に準じて、神奈川も改正されたことを受け、今後の市の対応について協議をしていきたい。という前向きな提案を頂きました。「支援員・補助員の配置について」が話の中核となりそうで、今後の海老名市の支援員の在り方に関わってくると思われそうです。
- 市内で災害が発生した際に、学童の施設を支援が必要とされる児童・保護者の受け入れ先として使用するための覚書の提案を頂いています。  
 こちらの覚書の中には、災害時に備えて施設に対し必要な水・食料を市が配備するという文言も入っており、学童と市との連携を形にするような内容でした。

連協内でも話し合いの機会が設けにくい状況で、世の感染が広がっているという緊張感が増すような日々ではありますが、一步ずつ活動が進められていけばと思います。

10月号の「地域連協だより」は  
 南足柄市連協の予定です。  
 お楽しみに！



神奈川県学童保育連絡協議会HP  
[\(http://kanaken.onushi.com/\)](http://kanaken.onushi.com/)



## <これからの主な予定>

- 10月25日(日) 秋の学習会(講師:下浦忠治氏)・拡大運営委員会〔横浜市・市従会館〕
- 11月22日(日) 第45回全国学童保育指導員学校・南関東会場〔東京都立大学・旧首都大学〕
- 2月●日(日) 第44回神奈川県学童保育研究集会(通称「かな研」)〔会場未定〕  
 \* 今後、「かな研」の実施に向け実行委員会を組んでいく予定です。

\*その他、運営委員会は毎月第1木曜日、役員会は運営委員会の前の週の木曜日に実施しています。

☆ 9月より指導員向けのオンライン基礎研修を開催する予定です。詳細は県連協HPでご確認ください。